

自治体の課題、現状

本市には9校の公立中学校があり、生徒数1,223人で、令和6年度をもって全ての文化庁活動が地域移行を完了しているが、地域移行以前に吹奏楽部以外の文化庁活動が存在したのは3校のみと、生徒が文化活動に接する機会が限られていたという現状である。

中学校部活動の地域移行の受け皿として、地域格差が発生しないよう市内全生徒に公平な活動機会を提供するため、指導者の質・量の確保、活動場所の確保、生徒の移動手段の確保、持続可能な体制の整備等、活動環境を整備していく必要がある。

地域文化クラブ活動等の概要

中学校数	9 校	全生徒数	1,223 人
域内の部活動数	0 部	実施した地域クラブ数	10 クラブ
全体の指導者数	147 人	全体の運営スタッフ数	24 人
主な運営団体	むつ市地域文化・スポーツクラブ		
主な種目	IT、学習、歌唱、家庭、ダンス、美術、ボードゲーム、野外活動体験、総合文化、吹奏楽		
平均的な活動回数	17回/月	年間平均参加生徒実数（吹奏楽のみ）	3年：08人/クラブ 2年：10人/クラブ 1年：04人/クラブ
参加会費	12,000円/年	主な活動場所	下北文化会館

地域移行関連の取組、成果

- ・活動場所を下北文化会館に集約することで、限られた指導者数においても、これまでの学校部活動には無かったクラブの運営を展開することができた。
- ・各学校から活動場所を繋ぐバスを運行することで、市内の全生徒が等しく活動機会を得ることができるようになった。
- ・指導については、専門資格を持っている人だけでなく、自身の趣味等の経験を活かして、その知識や技術を生徒に伝えていただく活動についても広く募集することで、気軽に指導者のエントリーをしてもらえており、様々なジャンルの登録につながっている。なお、指導者には年1回程度の研修会を実施し、コンプライアンス面での認識を深めてもらっている。

運営体制図

